

桃山学院大学キリスト教センター主催

工学部開設記念 2026年度チャペル講演会

キリスト教が育んだヨーロッパの風景

— 教会・広場・都市 —

日時

2026年10月20日(火)
15:00~16:30(4限目)

会場

桃山学院大学 聖救主礼拝堂(チャペル)

対象

桃山学院大学 学生、教職員、一般の皆さま
(入場無料 申込不要 先着140席)

内容

ヨーロッパの都市には、教会、広場、街路、塔が一体となってつくり出す、特徴的な「祈りの風景」があります。本講演では、ゴシックの教会建築からバロックへと展開する建築や都市空間を、様式の歴史としてだけでなく、都市景観や人々の空間体験という視点から読み解きます。教会がなぜ都市の中心に立地し、広場や政庁とともに都市の核を形成したのか。また、高さや光、軸線、装飾などの空間的な意匠が、人々の視線や動きをどのように導き、畏敬や感動を生み出してきたのか。ヨーロッパ各地の教会や広場の風景をたどりながら、建築と都市、信仰と市民生活が重なり合って形成された景観の魅力について考えます。

講師

かわさき まさし

川崎 雅史氏〈京都大学大学院 地球環境学堂(工学研究科兼任)〉

本学工学部 教授(就任予定)※2027年度

専門は都市デザイン・景観設計学。公共空間や都市施設のデザイン、都市形成史を中心に、都市景観の分析と景観形成の歴史に関する研究に取り組むとともに、実践的な都市計画・景観デザインに携わる。京都市都市計画審議会会長をはじめ、国土交通省近畿地方整備局景観アドバイザー、京都市・西宮市・神戸市・大阪市等の景観・都市デザインに関する委員を歴任。三条大橋、御園橋、鴨川公園葵地区、餘部駅クリスタルタワーなどの設計監修を手がける。

日本都市計画学会年間優秀論文賞、土木学会論文奨励賞、前田記念工学賞などを受賞。

著・編集書に『シビックデザイン』『港の景観設計』など。



動画配信期間

2026年12月1日(火)~2027年3月31日(水)〈予定〉

桃山学院大学公式YouTubeチャンネルにて無料配信。

右記の携帯サイトからご覧ください。



当日の献金は、熊本地震被災地支援をはじめ、各地災害支援のために大切に活用させていただきますので、ご協力のほど、お願いいたします。



この学院章は、イエス・キリストの最初の弟子の1人である聖アンデレ(St. Andrew)にちなんでデザインされています。「アンデレ・クロス」(St. Andrew's Cross X字型の十字架)は、イエスの教えを守り通して殉教したアンデレの偉大な生涯のシンボルです。「SEQUIMINI ME(セクイミニメ)」(「我に従え」というラテン語)は、アンデレがイエスに出会った時に呼びかけられた言葉です。したがって学院章は、アンデレのように最後まで「自由と愛」のキリスト教精神によって生きることを示しています。

お問合せ ◆ 学長室 チャペル事務室
〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1
TEL 0725-92-7034 MAIL christian@andrew.ac.jp
(平日9:00~17:00 土日祝休み)



世界が変わる体験がある。

桃山学院大学
St. Andrew's University

- ◆ 南海泉北線「和泉中央」駅より歩行者専用道路で約12分。
- ◆ お車でのご来場はご遠慮ください。